



平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月4日

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所 東
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日 配当支払開始予定日 平成25年10月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績(平成25年2月1日~平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	4,619	△0.3	673	7.3	786	17.4	341	27.9
25年1月期第2四半期	4,632	△0.8	627	4.5	670	26.0	267	675.5

(注) 包括利益 26年1月期第2四半期 594百万円(76.1%) 25年1月期第2四半期 337百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	5.71	—
25年1月期第2四半期	4.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第2四半期	33,872	26,066	77.0	435.56
25年1月期	33,560	25,654	76.4	428.63

(参考) 自己資本 26年1月期第2四半期 26,066百万円 25年1月期 25,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年1月期	—	3.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日~平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,350	△1.7	1,310	△7.0	1,450	△3.9	780	20.9	13.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年1月期2Q	65,112,187株	25年1月期	65,112,187株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	5,265,888株	25年1月期	5,261,181株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年1月期2Q	59,848,648株	25年1月期2Q	59,884,421株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策の効果が現れるなか、企業収益が改善するとともに、民間設備投資が緩やかに持ち直していますが、個人消費は、消費マインドの回復がみられる一方で物価上昇への懸念から節約志向がまだまだ根強く、また、海外経済の下振れリスクもあり、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下にあつて、売上高は4,619百万円と前年同四半期に比べ12百万円（0.3%）の減収となり、営業利益は673百万円と前年同四半期に比べ45百万円（7.3%）の増益、経常利益は786百万円と前年同四半期に比べ116百万円（17.4%）の増益、四半期純利益は341百万円と前年同四半期に比べ74百万円（27.9%）の増益となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

（不動産賃貸関連事業）

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルにおきましては、「グルメスタンプラリー」や「チケ得」などの販促活動を継続し、浅草再開発事業の「まるごとにつぼん」プロジェクトに関するイベントを開催することで顧客満足度の向上を図りました。また、本年3月に学生向け賃貸マンション「カルムガーデン錦糸町」（東京都墨田区）が竣工し、その他のビルも順調に稼働しましたので、前年同四半期を上回りました。

ビルメンテナンス事業では、新規物件の獲得に努め、当初予想を上回る売上高となりましたが、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は2,543百万円と前年同四半期に比べ5百万円（0.2%）の減収、セグメント利益は1,101百万円と前年同四半期に比べ3百万円（0.3%）の増益となりました。

（娯楽サービス関連事業）

映画興行事業では、「テッド」「モンスターズ・ユニバーシティ」「風立ちぬ」「真夏の方程式」が好稼働し、その他の作品も健闘しましたので、前年同四半期を上回りました。

温浴事業では、「天然温泉 楽天地スパ」「楽天地天然温泉 法典の湯」とともに、各種イベントを積極的に実施したこともあり、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート錦糸町」「楽天地フットサルコート調布」が引き続き堅調に稼働し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は1,462百万円と前年同四半期に比べ72百万円（5.2%）の増収、セグメント利益は98百万円と前年同四半期に比べ18百万円（23.2%）の増益となりました。

（飲食その他事業）

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店11店は前期並みとなりましたが、とんかつ店2店舗を昨年閉鎖しましたので、前年同四半期を下回りました。

その他の事業では、宝くじ販売において、グリーンジャンボ・ドリームジャンボ宝くじの販売が低迷したことにより、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は613百万円と前年同四半期に比べ79百万円（11.5%）の減収、セグメント利益は39百万円と前年同四半期に比べ0百万円（2.0%）の増益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は33,872百万円と前連結会計年度末に比べ312百万円の増加となりました。これは主として、短期債券が償還となったことにより有価証券が減少し現金及び預金が増加したこと、学生向け賃貸マンション「カルムガーデン錦糸町」を取得したことにより建物及び構築物が増加したこと、および株価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,806百万円と前連結会計年度末に比べ99百万円の減少となりました。これは主として、浅草事業場再開発の進捗に伴い事業整理損失引当金が減少したこと、「カルムガーデン錦糸町」の資産除去債務を計上したこと、および株価の上昇により増加したその他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債を計上したことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は26,066百万円と前連結会計年度末に比べ412百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

（通期の見通し）

不動産賃貸関連事業は、楽天地ビルをはじめとする主力ビルやその他のビルにおいては、引き続き高水準で稼働する見込みですが、ビルメンテナンス事業におきましては厳しい受注環境が続いており、売上高、セグメント利益とも前年同期を下回る見込みであります。

娯楽サービス関連事業は、映画興行事業においては、夏休み作品「風立ちぬ」などのヒットがあるものの、利益面では好調作品が相次いだ前年同期には及ばない見込みであります。温浴事業では「天然温泉 楽天地スパ」「楽天地天然温泉 法典の湯」が引き続き順調に稼働し、売上高、セグメント利益とも前年同期を上回る見込みであります。

飲食その他事業は、ドトールコーヒー系フランチャイズ店をはじめとする飲食店舗におきましては、前年に不採算のどんかつ店2店舗を閉鎖した影響で売上高は前年同期を下回るものの、セグメント利益は回復する見込みであります。

以上により、通期の連結業績予想は、売上高9,350百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益1,310百万円（前年同期比7.0%減）、経常利益1,450百万円（前年同期比3.9%減）、当期純利益780百万円（前年同期比20.9%増）を見込んでおります。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（26年1月期 報告セグメントごとの通期業績予想）

1 外部顧客への売上高

	不動産賃貸関連事業	娯楽サービス関連事業	飲食その他事業
通期予想(百万円)	5,005	3,095	1,250
前期実績(百万円)	5,103	3,030	1,373
対前期増減率(%)	△1.9	2.1	△9.0

2 セグメント利益

	不動産賃貸関連事業	娯楽サービス関連事業	飲食その他事業
通期予想(百万円)	2,220	250	84
前期実績(百万円)	2,256	259	69
対前期増減率(%)	△1.6	△3.8	20.0

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,936	2,223,062
売掛金	213,272	214,057
有価証券	3,368,718	2,369,748
その他	400,305	403,888
貸倒引当金	△38	△20
流動資産合計	5,452,194	5,210,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,349,725	16,484,590
土地	5,654,309	5,654,309
その他(純額)	767,241	813,481
有形固定資産合計	22,771,276	22,952,382
無形固定資産		
	302,983	297,306
投資その他の資産		
投資有価証券	4,243,584	4,648,367
その他	790,149	764,093
投資その他の資産合計	5,033,734	5,412,460
固定資産合計	28,107,994	28,662,149
資産合計	33,560,189	33,872,886

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	373,537	335,174
未払法人税等	223,773	233,210
賞与引当金	46,667	46,019
事業整理損失引当金	321,542	47,757
その他	1,357,711	1,347,083
流動負債合計	2,323,231	2,009,244
固定負債		
退職給付引当金	540,858	543,544
役員退職慰労引当金	98,493	53,625
資産除去債務	331,367	462,147
受入保証金	4,561,556	4,551,686
その他	50,489	185,953
固定負債合計	5,582,764	5,796,957
負債合計	7,905,996	7,806,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	20,700,387	20,862,477
自己株式	△1,974,607	△1,976,859
株主資本合計	25,150,352	25,310,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	503,840	756,494
その他の包括利益累計額合計	503,840	756,494
純資産合計	25,654,192	26,066,684
負債純資産合計	33,560,189	33,872,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
売上高	4,632,340	4,619,625
売上原価	3,439,431	3,401,391
売上総利益	1,192,909	1,218,234
一般管理費	565,484	545,200
営業利益	627,425	673,034
営業外収益		
受取利息	5,742	1,787
受取配当金	23,138	29,414
持分法による投資利益	70,535	65,546
投資有価証券売却益	26,669	53,031
その他	46,500	9,230
営業外収益合計	172,587	159,009
営業外費用		
支払利息	35,843	30,912
固定資産除却損	52,664	9,670
事業整理損	29,272	—
その他	12,052	4,975
営業外費用合計	129,832	45,559
経常利益	670,179	786,484
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	65,376	—
事業整理損	—	137,000
減損損失	82,445	72,038
特別損失合計	147,821	209,038
税金等調整前四半期純利益	522,358	577,445
法人税等	255,321	235,802
少数株主損益調整前四半期純利益	267,036	341,642
四半期純利益	267,036	341,642

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	267,036	341,642
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	70,349	252,654
その他の包括利益合計	70,349	252,654
四半期包括利益	337,386	594,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,386	594,297
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,549,376	1,389,552	693,412	4,632,340	—	4,632,340
セグメント間の内部 売上高または振替高	211,271	967	328	212,567	△212,567	—
計	2,760,648	1,390,519	693,740	4,844,908	△212,567	4,632,340
セグメント利益	1,098,840	79,768	38,803	1,217,412	△589,986	627,425

(注) 1. セグメント利益の調整額△589,986千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△565,484千円、セグメント間取引消去△24,502千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

「不動産賃貸関連事業」において、取り壊し予定の賃貸マンション(東京都港区)について8,730千円、「飲食その他事業」において、当初の収益見込みを下回ることとなった一部店舗(東京都江戸川区等)について73,714千円、それぞれ減損損失を計上しました。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,543,609	1,462,189	613,827	4,619,625	—	4,619,625
セグメント間の内部 売上高または振替高	211,576	915	353	212,844	△212,844	—
計	2,755,185	1,463,104	614,180	4,832,470	△212,844	4,619,625
セグメント利益	1,101,902	98,238	39,564	1,239,704	△566,670	673,034

(注) 1. セグメント利益の調整額△566,670千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△545,200千円、セグメント間取引消去△21,470千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

「飲食その他事業」において、当初の収益見込みを下回ることとなった一部店舗(千葉県船橋市等)について減損損失を認識しました。当該減損損失の計上額は72,038千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。